



学校教育目標

夢をもち未来を拓く子ども

【目指す児童の姿】

かしこい子 (知)
あかるい子 (徳)
ねばりづよい子 (徳)
たくましい子 (体)

【実践の合い言葉】

きたえ ふれあう 富沢っ子

みらい

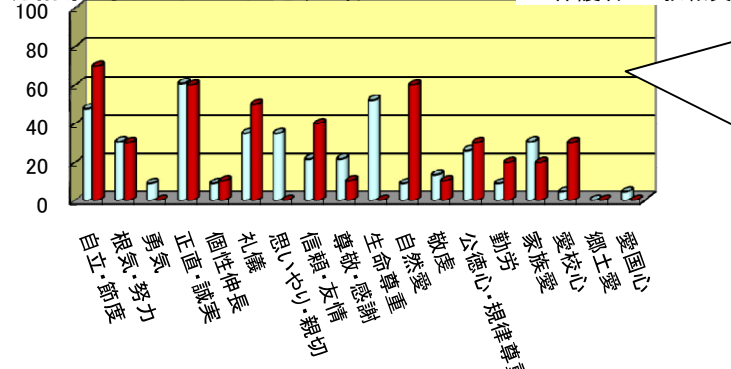
子どもの『豊かな心』の育成に関するアンケート集計結果 H25.6.28実施・配布 回収率(92%)

『命』『友達』『きまり』を守る子に

保護者・本校教職員を対象に実施した「豊かな心」の育成に関するアンケートの結果を集計・分析しました。ご協力いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。お陰様で貴重な資料を作成することができました。結果は、独自の計算方式により、回答者全員が選択した場合を100とする指数(%)に換算してグラフ化しました。保護者の子どもに対する期待や願い、教職員の子どもに対する思い、さらに子どもたちの実態などを総合的に捉え直すことで、今後、学校における道徳的指導充実のための方向性が明らかになりました。

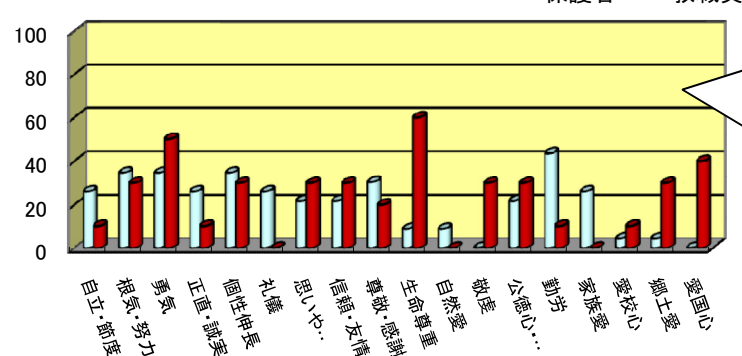
保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、今回の結果を参考にしながら、本校の子どもたちに「より豊かな心」を養うことができるようご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

1 十分指導 身につけていると思う内容

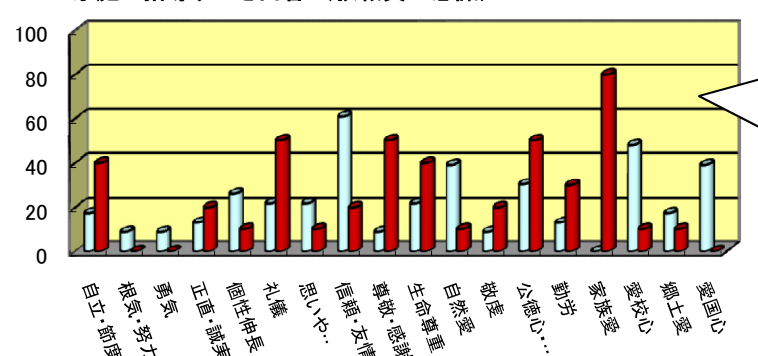


○保護者が充分身につけていると思う内容は「正直・誠実」「生命尊重」「自立・節度」
○教職員が充分身につけていると思う内容は「自立・節度」「正直・誠実」「自然愛」である。
○ともに充分と評価している内容は「正直・誠実」「自立・節度」であり、本校児童のよさであると認識している。
○また教職員が充分身につけていると認識している「自然愛」に対する保護者の評価は低い。
○保護者と教職員で、子どもに対する認識の違いが表れた結果となったが、家庭と学校とでは子どもの様子にも違いがあることの表れでもある。

2 子どもの課題 重点指導が必要

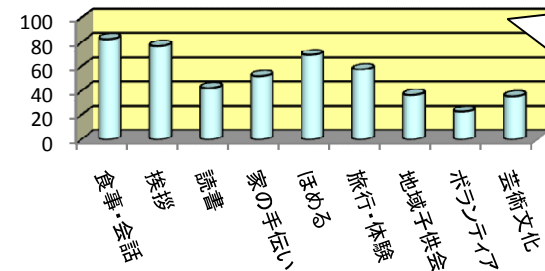


○保護者が子どもの課題と認識している内容では特に、「勤労」が高かったが、学校で指導すべき内容という意識は低い。
○学校教育の中で「勤労」に対する関心・意欲・態度を養っていくためには道徳だけでなく、キャリア教育を一層充実したものとしていく必要がある。
○保護者が充分身につけていると認識している「生命尊重」は、教職員にとっては子どもの課題であるという、相反する結果であった。
○「生命尊重」については人として特に大切な心情である。充分子どもに身についているとしても一層確かなものとしていく必要がある。

3 学校で指導すべき内容 (保護者の意識)
3 家庭で指導すべき内容 (教職員の意識)

○豊かな心を育てるために家庭での指導が効果的である内容、または学校での指導が効果的である内容がある。
○「家庭愛」は教職員が家庭での指導充実を願う内容であり、反対に「信頼・友情」「愛校心」「愛国心」は保護者が学校での指導充実を期待する内容でもある。
○昨今、小中学生の規範意識の欠如ということが問題視されているが、「公德心・規律尊重」は学校・家庭ともに重点的に指導していくべき内容と考える。

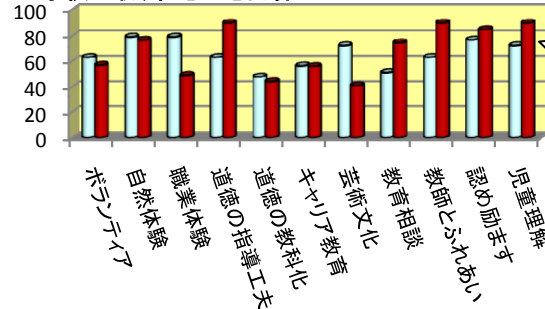
4 豊かな心を育てるための家庭での取組



○豊かな心を育てるために家庭で取り組んでいることでは「食事・会話」「挨拶」「ほめること」など家庭内での直接的な子どもとの関わりが多く、「ボランティア」「地域・子供会行事」など外に出ての活動の割合は低い。

○本校の場合、「地域・子供会行事」は富沢地域での活動として取り組んでいるが、「ボランティア」「芸術文化活動」への参加は学校での活動に期待しているものと思われる。

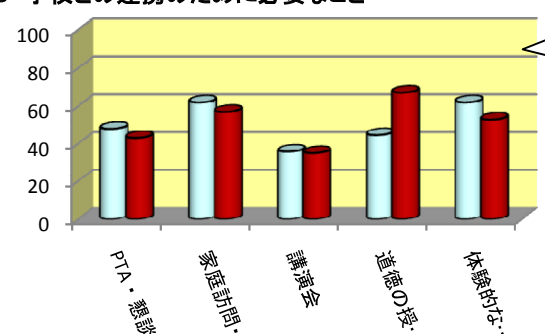
5 学校で取り組むべき内容



○保護者が学校での取組を期待するものは、「自然体験」「職業体験」「認め励ますこと」「芸術文化活動」である。また教職員が学校として取り組むべきこととして高かったものは、「道徳の指導充実」「教師とのふれあい」「児童理解」である。

○豊かな心を育てるためには、多種多様な体験活動を経験させたり、子どもの心に響く道徳的指導を充実させ、実践力を高める必要がある。

6 学校との連携のために必要なこと



○本校保護者についてはすでに日ごろより学校行事や参観日・PTA活動等、他校では見られないほどの積極的なご参加・ご協力をいただいているところです。

○今後も一層のご支援・ご協力をいただきたいと思います。



アンケート結果を踏まえての『豊かな心育成プロジェクト』(案)

◆道徳の時間の充実・・・生活や体験と関連づけた指導 ・心に響く資料の工夫 ・授業公開(参観日)

重点指導項目

- ① 命の大切さを教える 「生命尊重」
- ② いじめ防止をめざす 「思いやり・親切」「信頼・友情」
- ③ 社会的側面も重視する 「公德心・規律尊重」

◆キャリア教育の推進・・・学年別指導計画は2学期中に完成させる予定である。

◆「楽しい学校」の保障・・・児童の変化・悩みなどを敏感に捉え、早期解決をめざすための教師力アップ

◆自己肯定感の育成・・・褒める指導と子ども同士が互いによさを認め合い・伝え合う活動の推進。

◆体験活動の重視・・・ふるさと学習における自然体験・職業体験など一層充実した活動となるように工夫。

◆地域との交流・・・ふるさと家族による交流、いこいの家訪問、地域行事への参加など積極的な参加。

保護者の皆様へお願い

○家庭や社会の「きまり」をしっかり守ることができるよう励ましながらご指導ください。
○折に触れ、「命」や「友達」の大切さについて話し合う機会をもってください。
○学校や友達のことについて話を聞き、悩みごとなどはないか心の変化に気付いてあげてください。
○他の子と比べることなく、その子の個性やよさを認め励まし、さらに伸ばしてあげてください。
○「将来の夢」について語り合い、その実現のために努力することを応援してあげてください。

地域の皆様へお願い

○学校行事などの際には積極的にご参加いただき、子どもたちへ自分の経験や知恵などについて話したり励ましの言葉をかけたりしてください。
○ふれあい家族の交流やいこいの家訪問では子どもたちと会話や遊びなどで一緒に楽しみください。
○登下校時など子どもたちと出会ったときには気軽に声をかけたり挨拶したりしてください。
○近くで子どもたちのよくない行いを見かけたときには厳しく注意してください。

